

「輝きみつけ」

7月13日

先週の話です。校長先生は、朝、西の校門のところに立って、みなさんを出迎えていました。

ある通学班の子たちが、きれいに一列に並んで、すみれの家の近くを学校に向かって歩いているのが校門のところから見えました。校長先生がしばらくその班の子たちのことを見ていたのですが、その班の子たちは、南の方から歩いてきた大人の男の人とすれ違いました。するとそのとき、校長先生が立っているところまで、「おはようございます！」と挨拶する声が聞こえてきました。地域の大人の人にも、元気に挨拶ができるなんてすごいなあと思いました。その大人の方は、挨拶をされてとてもうれしい気持ちになったろうなと思いました。

その後、その通学班の子たちは、学校に向かってさらに歩いてきました。そして学校の北側の道を横断しました。横断したときに、車が待っていてくれました。その班の子は渡り終わった後、車に向かってちゃんとお辞儀をしました。お礼の気持ちを素直にあらわすことができる、その班の子たちは、素敵だなあと思いました。きっと、車の運転手さんもいい気分になれたらうなと思いました。

道を渡り終わったその班の子たちは、さらに学校に向かって歩いてきました。そして、校長先生のところまできました。校長先生が、「おはようございます！」と挨拶すると、その班の子たちはひとり残らず全員が校長先生の方を見て、「おはようございます！」と挨拶を返してくれました。確かその班には、5人の子がいたと思うのですが、5人とも「おはようございます！」と校長先生に言ってくれました。校長先生は、その子たちのおかげで、朝から、うきうきした気持ちになりました。

その通学班の子たちは、道ですれ違った大人の人と道を渡るのを待っていてくれた運転手さんと校門に立っていた校長先生をうれしい気持ちにしてくれました。その子たちは、自分たちの知らないうちに、「南小あったか宣言」を頑張っていたんだと校長先生は思いました。